



Meda  
Tomoko

うえだ ともこ

高校卒業後、岡山高等歯科衛生専門学校へ進学。同学院卒業後、歯科衛生士の国家資格取得、歯科医院に勤務。平成13年に歯科衛生士の臨床経験を生かしケアマネージャーの資格を取得。18年より同学院の専任教員

Smile  
Woman!  
インタビュー②8  
この人の仕事のカタチ

どこか輝いてみえる「仕事」をしているあの人にズームアップ。

# 健康管理に重要な口腔ケア これから のニーズに合った 歯科衛生士を育てたい

植田  
智子さん

社団法人 岡山県歯科医師会立  
岡山高等歯科衛生専門学校 専任教員

好きな言葉

ポジティブに

50年の歴史を持つ岡山高等歯科衛生専門学校（岡山市北区石関町）。5人の専任教員のもと、1年から3年まで計約160人の学生が歯科衛生士を目指している。専任教員の1人である植田智子さんは歯科医院勤務、ケアマネージャーの経験を生かし教鞭をとる。

## まわりの人々に支えられ成長

専任教員になって4年目の植田さんは、最初の2年弱は日々の業務に追われていたという。「歯科医院に勤めていた時とはまったく違う世界なので、はじめのうちは戸惑うことばかり。職場でも家でも常に「スイッチが入ったまま」でした。でも、ここ1、2年で気持ちに余裕ができてきたようで、オンオフ出来るようになりました。まわりの先生方や職員の方に支えられ、とても働きやすい環境を作っていただいていると思います。また、昨年3年生の担任を持ち、全員が国家試験に合格し巣立っていきました。卒業生を担任できたことは、プレッシャーもありましたが、私自身、成長でき、よい経験になりました」

## 歯科衛生士の重要性高まる

「歯科衛生士は健康管理に関わる仕事」と植田さん。「口腔ケアが全身の健康にとって重要だと言われています。口腔内の汚れが誤嚥（ごえん）性肺炎の要因のひとつといわれています。歯科衛生士の役目は院内での診療補助だけでなく、歯科予防処置、保健指導、食事指導など幅広い分野での重要性が高まっています。これからは、在宅や施設に入所されている方の訪問治療も増えてくると思います。その中で健康管理を行う第一人者としての歯科衛生士が増えてほしい。私は教える立場として、しっかりと学生たちをサポートし、これからの社会的ニーズに合った人材を育てていきたいです」

